

経営比較分析表（令和6年度決算）

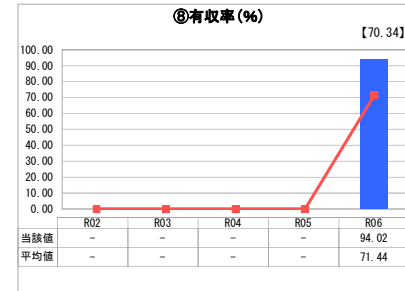
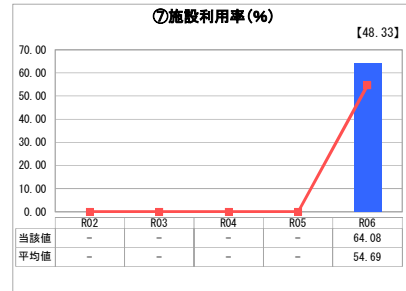
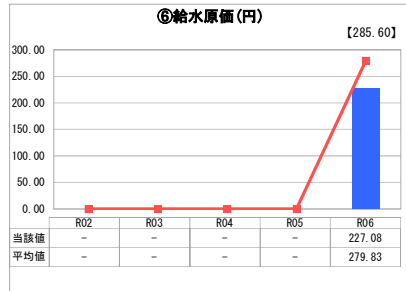
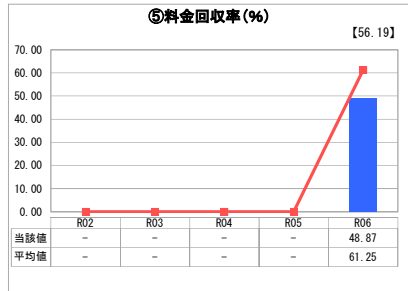
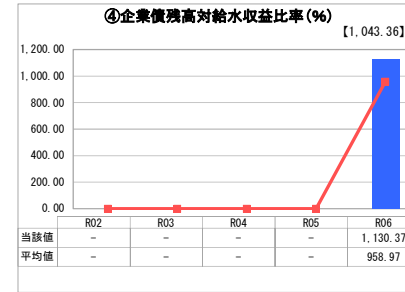
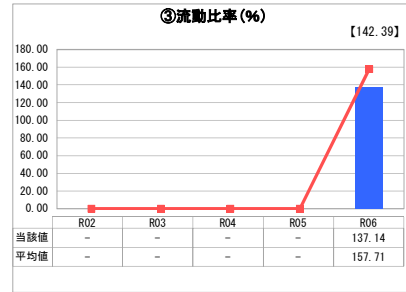
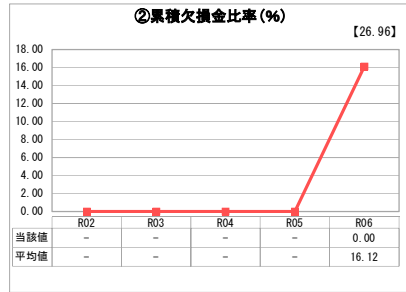
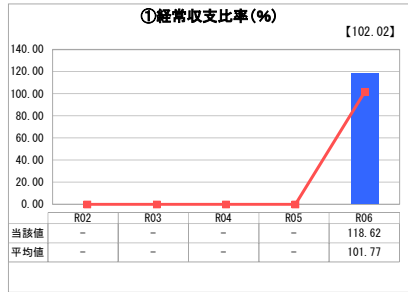
高知県 仁淀川町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	水道事業	簡易水道事業	C3	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)	
-	58.02	61.90	2,080	

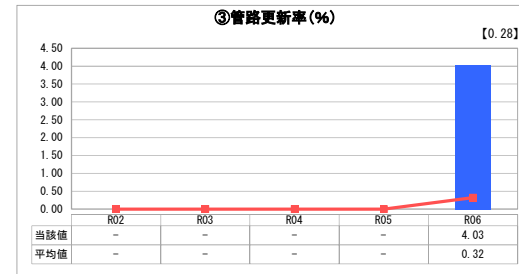
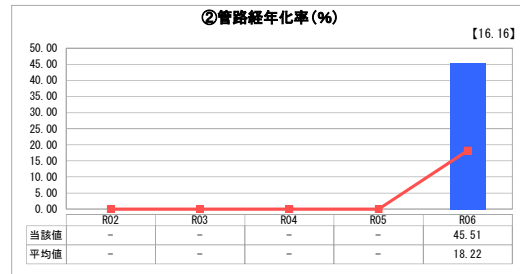
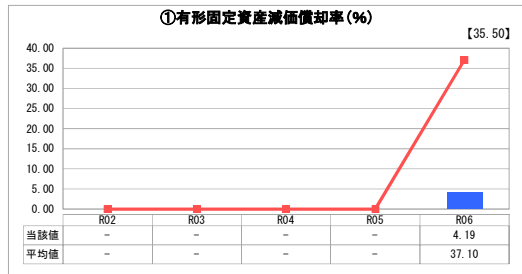
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
4,459	333.00	13.39
現在給水人口(人)	給水区域面積(km ²)	給水人口密度(人/km ²)
2,716	97.30	27.91

グラフ凡例
■ 当該団体値（当該値）
— 類似団体平均値（平均値）
【】 令和6年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

①経常収支比率は118.62%で類似団体平均を上回っており、当該年度において収支が黒字である。今後、人口減による給水収益の減少や、施設の老朽化に伴う修繕費の増加も懸念されているため、経営改善が必要となっていく。

②累積欠損比率は0.00%で、累積欠損金は発生しておらず、現時点で健全な経営と言える。

③流動比率は137.14%で、短期的債務に対する支払能力は十分にあると言える。今後も現金等の流動資産額に注視をしていく。

④企業債残高対給水収益比率は1,130.37%で、給水収益に対する企業債残高は類似団体平均をやや上回っている。現在、管路の更新・耐震化工事を重点的に行っているため、それに伴う企業債残高が大きくなってきているものである。

⑤料金回収率は48.87%で、類似団体平均をやや下回っている。今後、適切な料金収入の確保に取り組んでいく。

⑥給水原価は227.08円で、類似団体平均を下回っており、今後経営改善の検討を行う必要がある。

⑦施設利用率は64.08%で、類似団体平均を上回っており、適切な施設規模であると言える。

⑧有収率は94.02%で、類似団体平均を大きく上回っており、施設の稼働状況は適切であると言える。

2. 老朽化の状況について

①有形固定資産減価償却率は4.19%で、類似団体平均を大きく下回っており、施設更新の必要性は暫く問題がないと言える。

②管路経年率は45.51%で、類似団体平均を大きく上回っており、管路の老朽化度が非常に高いと言える。現在、管路の更新・耐震化工事を重点的に行っている。

③管路更新率は4.03%で、類似団体平均を大きく上回っており、管路の更新・耐震化工事を重点的に行っているためと言える。

全体総括

経営については現時点で健全性が高いと言えるが、急速な人口減少に伴う需要減少等により、今後給水収益は減少していくと考えられる。そのため、自主財源の確保が課題となるため、経営ビジョンの更新等経営改善の検討を行っていく。

ハード面においては施設・管路の老朽化等が進んでおり、早急な更新・耐震化が必要となっている。現在取り組んでいるが、増加する費用面を考えると、今後の経営改善検討が必要となってくる。

公営企業に携わる人材確保については、維持管理業務等で第三者委託を行っている。

また、近年の物価高騰により維持管理費等の収益的収支が増加傾向であるが、これについても経営改善の検討を行っている。